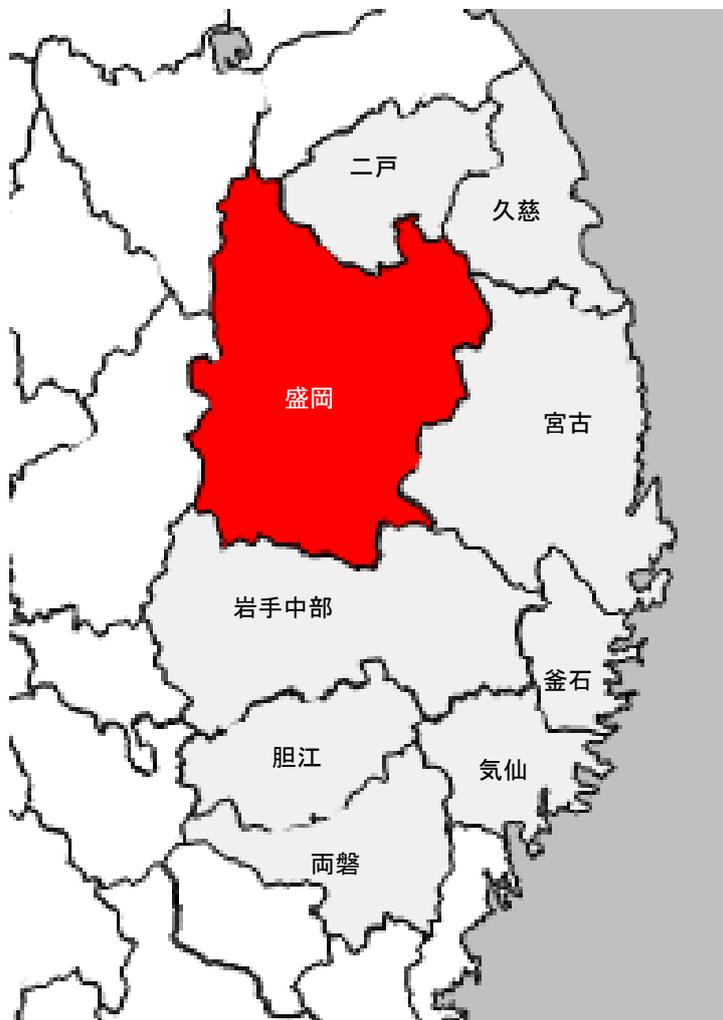


3. 岩手県



3. 岩手県

今回のデータは、東日本大震災以前の状況を表すものであり、震災の影響により岩手県内、特に沿岸部の様相は大きく変化している。この場ではデータに示された数字をもとに岩手の現状と整備の方向性を考える。

A. 医療提供体制の現状

岩手県の特徴は、(1) 各医療機関がカバーすべき広い診療圏、(2) 盛岡への医療資源の集中、(3) 盛岡を中心とする県立病院ネットワーク、(4) 気仙、釜石、宮古への震災への影響である。

(1) 各医療機関がカバーすべき広い診療圏

岩手県は全国 2 番目の広さを誇る県であり、盛岡、岩手中部、宮古は 2,000 km²を超える医療圏がある。各医療機関がカバーすべき診療圏も広く、長距離搬送が頻回に行われる。

(2) 盛岡への医療資源の集中

県全体の偏差値は、病床数 (54)、一般病床数 (56)、看護師数 (52) と高く、病院勤務医数 (49)、全身麻酔数 (51) と、こちらも一定の水準を保っている。ただし盛岡に人口の 36%が集中しているのに対し、病院勤務医の 57%、全身麻酔の 62%、看護師の 60%と、人口比以上に医療資源が集中している。その結果、他の全ての医療圏の病院勤務医数の偏差値が 45 を切り、医師不足傾向が強い。看護師も 50 を切る医療圏が多い。

(3) 盛岡を中心とする県立病院ネットワーク

広範に広がる県全域をカバーするため各地域に地域の基幹病院となるべき県立病院が配置され、高機能の医療が必要な場合、盛岡に集まる県立病院ネットワークが機能している。ただし三陸側の医療圏には高機能医療に対応できる基幹病院が不足している。

(4) 気仙、釜石、宮古への震災への影響

岩手県の三陸地域は、震災前から病院勤務医、全身麻酔数が少ない地域であったが、震災により、今回のデータが示す状況以上に状況が悪化していることが予想される。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

(盛岡)

盛岡の人口当たりの病院勤務医数の偏差値が 61、全身麻酔数 64、総看護師数 60 と質、量の両面で盛岡の医療の充実は、群を抜いている。また県立中央病院が日本でも有数の県立病院のネットワークの要の役割を果たし、岩手県下の他の県立病院から多くの患者が送られ

てくる。

岩手県の2010→35年の総人口は22%減、盛岡が15%減である。岩手県の総医療需要は4%減、盛岡は10%増であるが、0-64歳で見ればいずれも3割程度減少する。盛岡および周辺地域の0-64歳位の医療需要の大幅減少が見込まれるので、現在の充実した急性期病床の一部を、亜急性、回復期、療養などへ転換することが望ましい。

(岩手中部、胆江、両盤)

岩手中部、胆江、両盤の3地域には、県立中部、県立胆沢、県立磐井という盛岡の県立中央病院に続くクラスの県立病院が地域の拠点病院として存在し、それぞれの病院が年間1,000例以上の全身麻酔を行っている。いずれの地域も病院勤務医数、全身麻酔数が偏差値45以下だが、高機能医療が必要な場合は盛岡に送り、他の疾患はそれぞれの地域で対応している。今後2割程度の人口減少が見込まれるが、現在の医療提供体制を維持することが望まれる。

(久慈、二戸)

久慈には県立久慈病院、二戸には県立二戸病院があり、地域の基幹病院となっているが、上記3病院ほどアクティブではない。この地域は2010→35年に3割近く人口が減少し、大幅な施設強化が難しいので、現在の医療提供水準の維持と盛岡との医療ネットワークの強化が望まれる。

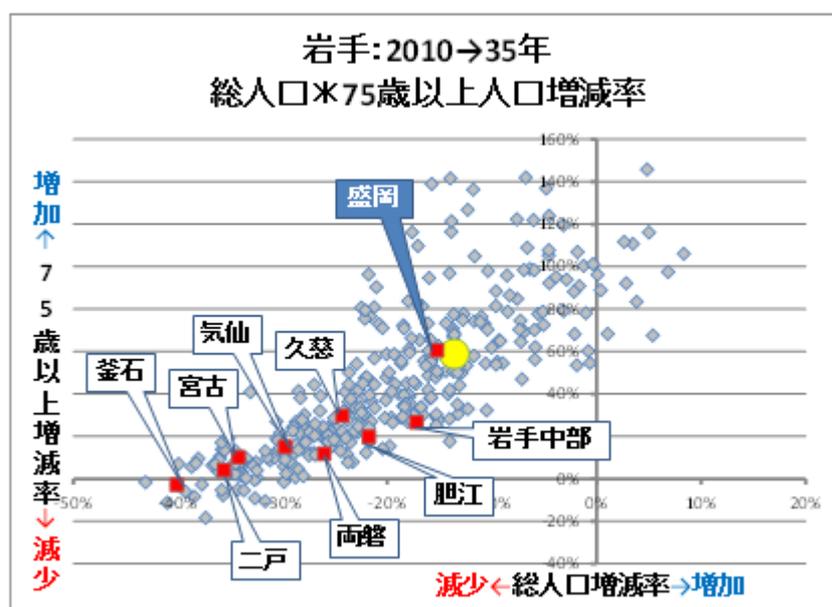
(気仙、宮古、釜石)

東日本大震災で大きな被害を受けた地域である。特に気仙(大船渡)は、震災前でも日本で最も医療資源の少ない地域の一つ、宮古と釜石も医療提供体制が不十分な地域である。この地域にも、県立大船渡、県立宮古、県立釜石病院があるが、地域の基幹病院としての役割が十分に果たせない状況にあった。今回の震災で更に状況が悪化し、危機的な状況にある。今後大幅な人口減が見込まれる地域であるが、国策としての復興支援と、盛岡との医療ネットワークの強化が望まれる。

表 3-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
岩手県	1,330,147	32位	15,279	2位	87.1		27%	-22%	29%
盛岡	481,699	36%	3,642	24%	132.3	地方都市型	22%	-15%	60%
岩手中部	230,509	17%	2,762	18%	83.4	過疎型	27%	-17%	27%
胆江	141,071	11%	1,173	8%	120.3	過疎型	29%	-22%	20%
両磐	135,987	10%	1,320	9%	103.0	過疎型	30%	-26%	12%
気仙	70,227	5%	890	6%	78.9	過疎型	33%	-30%	15%
釜石	54,850	4%	642	4%	85.4	過疎型	34%	-40%	-3%
宮古	92,694	7%	2,672	17%	34.7	過疎型	32%	-34%	10%
久慈	62,505	5%	1,077	7%	58.0	過疎型	28%	-24%	30%
二戸	60,605	5%	1,100	7%	55.1	過疎型	32%	-36%	4%

図 3-1 総人口と75歳以上人口の増減率（2010年→35年）



高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」2012

(A.「医療提供体制の現状」、表3-1、表3-2、表3-5、図3-4)

厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H.24.3

(図3-5)

表 3-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

二次医療圏	総病床数				一般病床数(再掲)				総高齢者ベッド数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	一般病床数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総高齢者ベッド数	県内シェア	75歳1000人当り	偏差値
全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
岩手県	19,735	1.2%	1,484	54	11,320	1.2%	851	56	16,817	1.3%	88	46
盛岡	8,575	43%	1,780	59	4,759	42%	988	61	5,417	32%	99	52
岩手中部	2,675	14%	1,160	47	1,427	13%	619	46	3,051	18%	91	48
胆江	1,835	9%	1,301	50	1,026	9%	727	51	1,724	10%	78	41
両磐	1,786	9%	1,313	50	1,264	11%	930	59	2,087	12%	88	46
気仙	745	4%	1,061	45	506	4%	721	50	760	5%	61	33
釜石	1,050	5%	1,914	62	742	7%	1,353	76	783	5%	80	42
宮古	1,501	8%	1,619	56	603	5%	651	47	1,214	7%	78	42
久慈	789	4%	1,262	49	453	4%	725	50	837	5%	89	47
二戸	779	4%	1,285	50	540	5%	891	57	944	6%	87	46

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

図 3-2 病床数(人口10万当たり)、総高齢者ベッド数(75歳以上1,000人当たり)

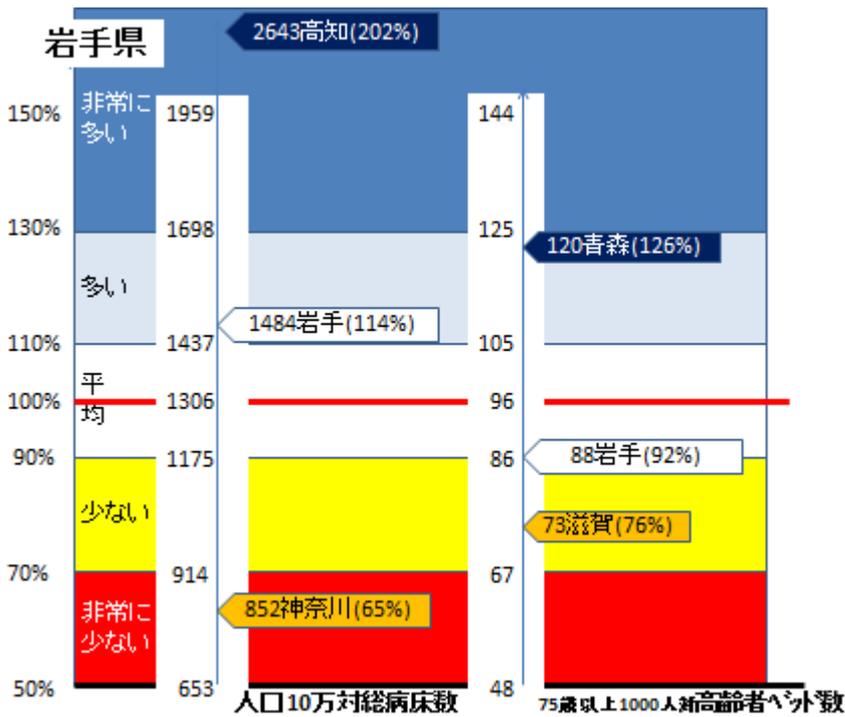


表 3-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養病床数				回復期病床数				精神病床数			
	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
岩手県	2,746	0.8%	206	47	740	1.2%	56	52	4,737	1.4%	356	54
盛岡	1,619	59%	336	54	426	58%	88	59	1,711	36%	355	54
岩手中部	260	9%	113	43	154	21%	67	54	808	17%	351	54
胆江	437	16%	310	52		0%	0	39	328	7%	233	48
両磐	69	3%	51	40	41	6%	30	46	408	9%	300	51
気仙	37	1%	53	40		0%	0	39	198	4%	282	50
釜石	102	4%	186	46		0%	0	39	204	4%	372	55
宮古	148	5%	160	45	76	10%	82	58	640	14%	690	70
久慈	74	3%	118	43	43	6%	69	55	215	5%	344	53
二戸		0%	0	37		0%	0	39	225	5%	371	55

表 3-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				療法士数			
	救命救急センター	県内シェア	人口100万当り	偏差値	がん診療拠点病院	県内シェア	人口100万当り	偏差値	療法士数	県内シェア	人口100万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
岩手県	3	1.5%	2.3	53	9	2.4%	6.8	61	797	0.9%	60	48
盛岡	1	33%	2.1	52	2	22%	4.2	53	473	59%	98	58
岩手中部	0	0%	0	43	1	11%	4.3	54	93	12%	40	43
胆江	0	0%	0	43	1	11%	7.1	62	48	6%	34	41
両磐	0	0%	0	43	1	11%	7.4	62	48	6%	35	41
気仙	1	33%	14.2	102	1	11%	14.2	82	12	2%	17	36
釜石	0	0%	0	43	0	0%	0	42	18	2%	33	41
宮古	0	0%	0	43	1	11%	10.8	72	71	9%	77	52
久慈	1	33%	16.0	109	1	11%	16.0	87	21	3%	34	41
二戸	0	0%	0	43	1	11%	16.5	88	13	2%	21	38

表 3-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC 病院での全身麻酔件数

二次医療圏	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
岩手県	1,531	1.0%	115	49	9,419	1.1%	708	52	19,508	1.1%	1,467	51
盛岡	866	57%	180	61	4,203	45%	872	60	12,022	62%	2,496	64
岩手中部	175	11%	76	41	1,256	13%	545	45	2,070	11%	898	44
胆江	114	7%	81	42	864	9%	613	48	1,244	6%	882	44
両磐	114	7%	84	43	903	10%	664	50	1,100	6%	809	43
気仙	59	4%	84	43	374	4%	532	44	866	4%	1,233	48
釜石	42	3%	77	41	485	5%	885	60	606	3%	1,105	46
宮古	53	3%	57	38	573	6%	618	48	506	3%	546	39
久慈	53	3%	85	43	376	4%	602	47	514	3%	822	43
二戸	55	4%	91	44	385	4%	635	49	580	3%	957	44

図 3-3 病院勤務医数（人口 10 万人当たり）

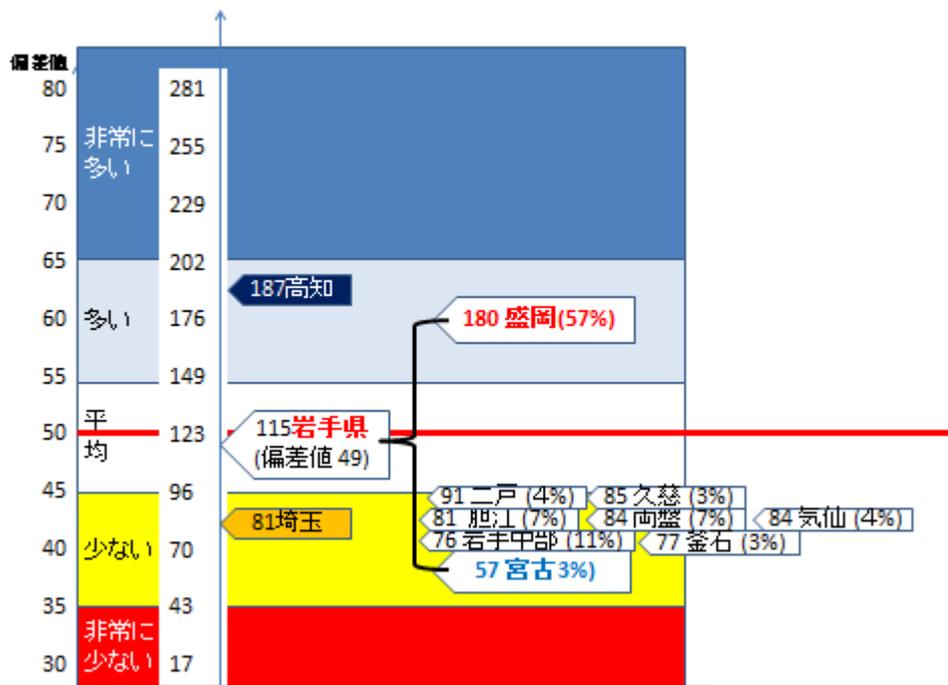


図 3-4 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数

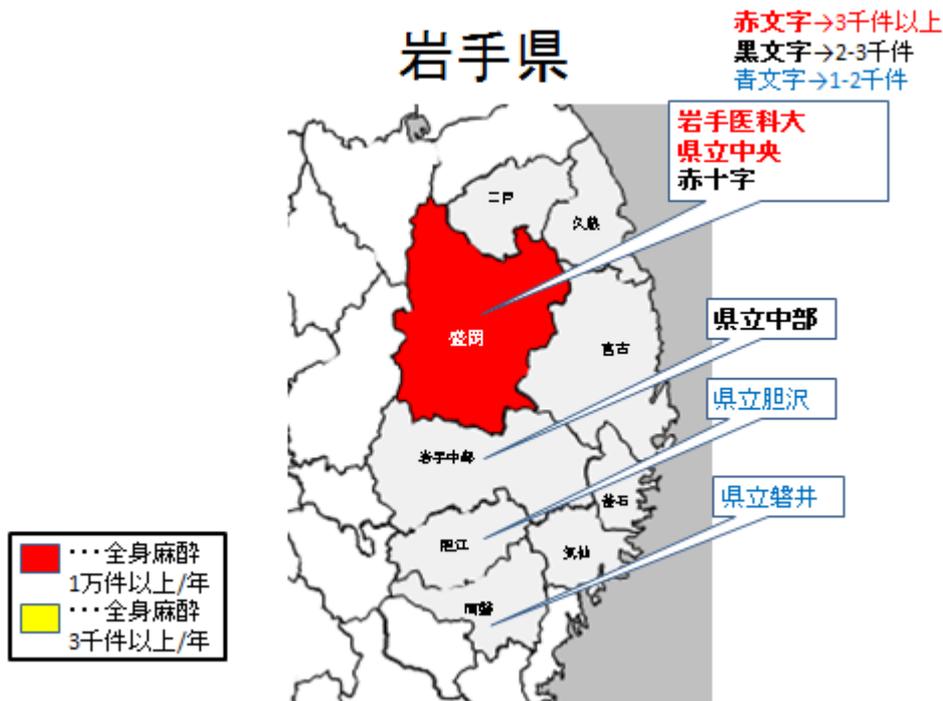
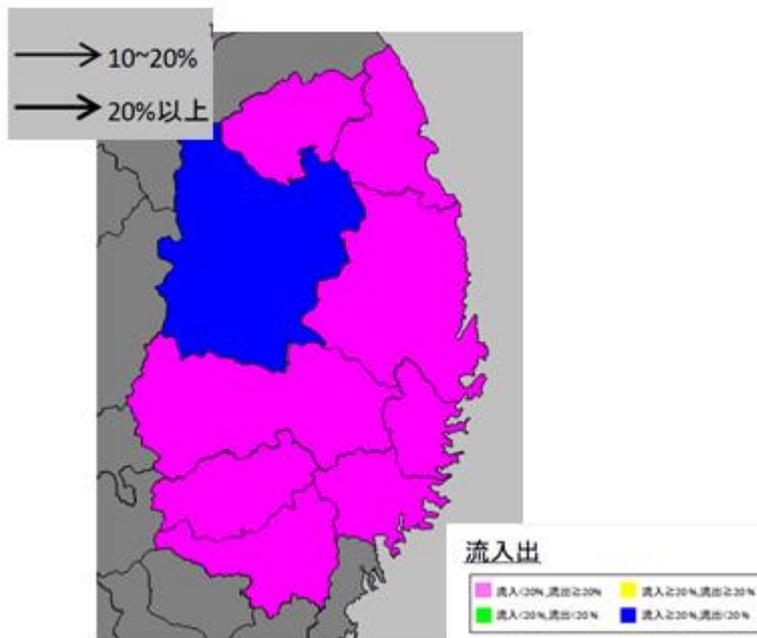


図 3-5 2次医療圏（流入出）



震災の影響で、岩手、宮城、福島の医療圏間の入院患者の移動のデータが発表されていないため、この3県の上記地図には、矢印が示されていない

表 3-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	老人保健 施設収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	特別養護 老人ホーム 収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
岩手県	11,116	1.6%	58	57	5,406	1.8%	28	61	5,710	1.4%	30	52
盛岡	3,031	27%	55	54	1,598	30%	29	63	1,433	25%	26	48
岩手中部	2,046	18%	61	59	1,130	21%	34	71	916	16%	27	49
胆江	1,246	11%	56	55	508	9%	23	52	738	13%	33	55
両磐	1,397	13%	59	58	666	12%	28	61	731	13%	31	53
気仙	610	5%	49	49	301	6%	24	54	309	5%	25	47
釜石	572	5%	58	57	272	5%	28	60	300	5%	31	52
宮古	909	8%	59	57	379	7%	24	55	530	9%	34	56
久慈	655	6%	70	67	278	5%	30	64	377	7%	40	62
二戸	650	6%	60	59	274	5%	25	56	376	7%	35	57

表 3-7 高齢者住宅数（高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム）

二次医療圏	高齢者 住宅数 合計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	有料老人 ホーム計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
岩手県	5,701	0.9%	30	41	1,609	0.7%	8.4	42	1,627	1.0%	8.5	45
盛岡	2,386	42%	44	49	908	56%	16.6	50	441	27%	8.0	45
岩手中部	1,005	18%	30	41	114	7%	3.4	38	333	20%	9.9	48
胆江	478	8%	22	37	73	5%	3.3	38	144	9%	6.5	42
両磐	690	12%	29	41	195	12%	8.3	42	252	15%	10.7	49
気仙	150	3%	12	32	10	1%	0.8	35	90	6%	7.2	43
釜石	211	4%	22	37	71	4%	7.3	41	72	4%	7.4	44
宮古	305	5%	20	36	51	3%	3.3	38	160	10%	10.3	49
久慈	182	3%	19	36	55	3%	5.9	40	63	4%	6.7	43
二戸	294	5%	27	40	132	8%	12.2	46	72	4%	6.7	42

表 3-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域区分	2010→35 総医療 需要	2010→35 0-64歳 医療需要	65-74歳 医療需要	0-74歳 医療需要 (再計)	75歳以上 医療需要	2010→35 総介護 需要
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
岩手県		-4%	-33%	-16%	-26%	29%	23%
盛岡	2	10%	-29%	2%	-18%	60%	52%
岩手中部	3	-2%	-27%	-13%	-22%	27%	22%
胆江	3	-7%	-31%	-20%	-27%	20%	15%
両磐	3	-11%	-36%	-21%	-30%	12%	8%
気仙	3	-13%	-42%	-30%	-36%	15%	10%
釜石	3	-27%	-49%	-43%	-47%	-3%	-7%
宮古	3	-19%	-45%	-37%	-41%	10%	5%
久慈	3	-4%	-37%	-15%	-29%	30%	24%
二戸	3	-20%	-47%	-32%	-40%	4%	0%

図 3-6 岩手県 2010年→35年介護医療需要の増減予測

